

## RRBS 受託サービスサンプル提出ガイドライン

連絡先: [info@genetics-n.co.jp](mailto:info@genetics-n.co.jp)

Diagenode WEBサイト: <https://diagenode.co.jp/product-info/rrbs-service>

### 1. ゲノム DNA の単離

- RRBS に使用する DNA のクオリティは非常に重要であるため、Diagenode 社では以下の DNA 抽出キットを使用することを強く推奨します。
  - 細胞、血液、組織サンプル: DNeasy Blood & Tissue Kits (QIAGEN 社)
- Trizol は酵素的による消化を阻害するため、DNA 抽出の際には使用しないでください。
- 提出するゲノム DNA はタンパク質と RNA を含まないものでなければなりません。そのため、DNA 抽出方法にかかわらず、**Proteinase K および RNase 処理**を行ってください。その後、Diapure (Diagenode、C03040001) カラムでの DNA 精製も**必ず行ってください**。
  - \* 上記精製の際は、AMPure Beads などのビーズは使用しないでください。
- 高分子量の DNA は断片化する可能性があるため、ボルテックスを行わず、ピペティングで混合してください。

### 2. ゲノム DNA の定量と調製

- 二本鎖 DNA の濃度は、Qubit dsDNA High Sensitivity kit のような蛍光色素を使用する方法で定量を行ってください。  
Nanodrop のような分光光度計は、濃度を過大評価する傾向があるため、正確な二本鎖ゲノム DNA の濃度を定量できない可能性があります。
- 各サンプルを 0.8% アガロースゲルで電気泳動し、ゲノム DNA が分解されていないか確認することを推奨します。
- RRBS には、**150 ng 以上のゲノム DNA (蛍光色素を使用する方法で定量) が必要となります。**
- DNA 濃度 5 ng/μL 以上、液量 30 μL 以上でご提出ください**
- すべてのサンプルは均一な濃度に調整されていることが望ましいです。
- 24 サンプル未満の場合は、1.5 mL のチューブにサンプルを準備し、Sample ID Sheet の内容に相違がないよう注意してラベルを貼ってください。
- 24 サンプル以上の場合は、96 ウェルプレートでサンプルを提出することが必須となります。Sample ID Sheet に各サンプルの位置を明記してください。

### 3. 発送準備

- 予期せぬ輸送の遅延に備えて十分なドライアイスを用意していただき、サンプルは必ずドライアイスに入れて送ってください。
- 記入済みの Sample ID Sheet.xlsx と Biosafety form.doc ファイルを印刷して、サンプルと一緒に同梱してください。

#### ■ サンプルの発送先

日本ジェネティクス株式会社 本社・営業部 宛

住所：〒112-0004 東京都文京区後楽 1-4-14 後楽森ビル 18 階

電話番号：03 (3813) 0961

〈ご発送時の連絡について〉

ご発送の準備が整いましたら、荷受けの準備が必要となりますので、info@genetics-n.co.jp まで、以下の情報をお知らせください。

- 1) ご所属・ご氏名
- 2) 発送日
- 3) 追跡番号（運送会社）

#### ■ ご発送時の注意点

- 1) 冷凍便（-20℃）にてお送りください。
- 2) 日本ジェネティクス株式会社の営業日は、土日祝日・年末年始を除く平日午前9時から午後5時までとなります。  
\*土日を含んだ発送は、リスクがあるためお控えください。
- 3) ご発送者様の元払いで上記営業時間内に日本ジェネティクス株式会社に到着するようお送りください。
- 4) 輸送時のトラブルに関しましては、日本ジェネティクス株式会社ではその責任を負いかねます。
- 5) 本確認事項を満たさないことで別途費用が発生した場合は、お客様に費用のご負担をお願いいたします。